

只見町小児(5～11歳)新型コロナワクチン追加接種

【新型コロナワクチン追加接種の目的】

現在、国内における新型コロナウイルス感染症（以下、COVID 19）の急増に伴い、小児の患者数が増加し、それに伴って重症化する小児患者も増加しています。

日本小児科学会においては、特に、小児における COVID 19 の重症化予防に寄与することが確認されたことをふまえ、メリット（発症予防や重症化予防等）がデメリット（副反応等）を更に大きく上回ると判断し、5～17歳のすべての小児に新型コロナワクチン接種を推奨しています。（2022.8.22）

小児新型コロナワクチン追加接種は、初回（1回目・2回目）接種を完了したすべての小児に対して、感染予防効果や重症化予防効果等を高める効果が期待できるために行われるものです。

【接種対象】

接種日において、初回接種（1・2回目接種）完了から5か月経過した満5歳～11歳の小児

【接種の費用】

全額公費で接種を行うため、無料で接種できます。

【接種方法等】

◇接種日及び接種会場

対象(2回目接種日)	3回目接種日	会場
3月26日に完了した児童	9月21日(水)	只見町保健福祉センター
5月13日に完了した児童	10月19日(水)	
5月20日に完了した児童	11月2日(水)	

※上記の日程以降の接種日程は後日お知らせいたします。

◇接種時間：午後3時30分～4時30分 個人ごとに日時指定での接種となります。

【接種券及び予診票】

接種券付予診票を郵送いたします。接種するまで失くさないよう、大切に保管ください。

【追加接種日時の確認】

あらかじめ、接種日時及び場所を指定した「接種予約票」を接種券発送時に送付させていただきますので、同封の黄色の予約票をご確認ください。

感染対策のため、記載されている時間に会場で受付をしてください。

【接種当日お持ちいただくもの】

- ・接種券付予診票1枚 ※あらかじめご記入ください
- ・本人確認書類（健康保険証、マイナンバーカード等）
- ・お薬手帳
- ・母子健康手帳

【指定日時変更方法】

体調不良等のやむを得ない理由で、接種日に受けることができない場合は、ワクチンの準備の都合上、必ず接種前日までに保健福祉課保健係へ(TEL 84-7005)へ連絡をしてください。

小児コロナワクチンは1バialから10人分接種可能なワクチンです。無駄なく、多くの方が追加接種を受けることができるようご協力をお願いします。

指定日時変更の際には、お手元に「追加接種券」を準備ください。

◇電話番号 0241-84-7005

◇変更受付時間 午前 9時～午後5時

◇確認項目

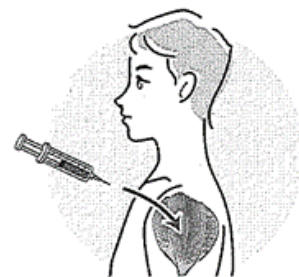
①お名前 ②生年月日 ③お住まいの地区 ④連絡の取れる電話番号 ⑤接種券番号

【ワクチンの接種部位】

通常、三角筋（上腕の筋肉）に筋肉内注射という方法で接種します。

接種当日は、**肩を出しやすい服装**で受けてください。

Tシャツ等の半そでの服装に、**長袖を羽織るとすぐに着脱できる**のでお勧めです。



【特に接種をおすすめする方】

慢性呼吸器疾患、先天性心疾患等、重症化リスクの高い基礎疾患（※）を有する方
接種にあたっては、あらかじめかかりつけ医等とよく相談してください。

（※）日本小児科学会では、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高い疾患の一覧等を公表しています。

【新型コロナワクチンの効果】

ファイザー社のワクチンは、5～11歳の小児においても、デルタ株等に対して、中和抗体価の上昇や発症予防効果が確認されています。オミクロン株に対する感染予防効果は、現時点で得られている米国での研究結果によると、ファイザー社のワクチンにおける感染予防効果は、5～11歳では2回接種後14～82日後で31%、12～15歳では2回接種後14～149日後で59%という報告があり、一定の効果が期待されています。また、オミクロン株に対する発症予防効果や入院予防効果についても確認されており、米国でオミクロン株流行期に5～18歳を対象に実施された研究では、ファイザー社のワクチンを2回接種完了後の入院予防効果は5～11歳で68%、12～18歳で40%であったと報告されています。

※出典 第32回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料より抜粋

【その他の問合せ先】

新型コロナワクチン接種初回（1・2回目）接種や追加接種等について、ご不明な点がございましたら、只見町保健福祉課保健係（TEL84-7005）へお問合せください。